



小さな拠点づくり Creating a small base

私たちの町をご紹介



自然と人と共に生きる ぬくもりある二川

二川地区は、広島方面へと続く国道191号と、益田・三隅方面へと続く県道浜田美都線の合流地点に位置しており、中山間地域としては比較的交通量の多い地域です。

地区内には美肌の湯で知られる「美都温泉」があり、町内外から多くの入浴客が訪れます。住民にとっても美都温泉は地域の宝として、大切にされています。

また、柴犬のルーツとされる石州犬「石号」が生まれたのがこの地域で、柴犬の聖地「石号の里」として話題になり、愛犬家の方たちを中心に県内外から石号記念館に訪れる人が増えています。

石号記念館の近くには双川峡があり、上流には総落差18メートルの「養戸の滝」が勢いよくしぶきをあげて豪快に流れ落ちています。駐車場や遊歩道も整備され、二川地区の観光スポットとなっています。



小さな拠点づくりとは?

住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、様々な課題の解決が必要です。 そのために知恵を出し合い、計画をつくって出来ることから 少しずつ取り組んでいくことが「小さな拠点づくり」です。



idea

小さな拠点づくり

Creating a small base

益田市

私たちの アイデア

おかえりなさい!石号 (いしごう)

二川地区

(一般社団法人 ぬくもりの里二川)



美都温泉、石号の里、双川峡といっ た自慢の観光地をうまく活用し、地 域外の人をもっと呼び込めるように 関係人口を増やすのが目標です。そ

の上で地元の若者たちが残ってくれ るようになり、Uターン・Iターン者も

増やしていく考えです。 体験事業などで拠点となっている公

民館もいずれは規模を大きくして、よ り多くの人が利用できる場にしてい

きたいです。

二川地区は柴犬の祖犬である石州犬 「石号」出生の地。その石号が生まれ育っ た家が記念館として保存され、2019年 11月2日の石号の誕生日に石像が完成 しました。毎年11月2日には「おかえりな さい!石号」と題して除幕式やイベントが 行われており、2021年に行われた石号 そっくりさんコンテストでは愛犬を連れ た参加者で賑わいました。「石号」は二川 地区のシンボルであり、「石号」に関する イベントへの参加にあわせて、二川地区 のことも知ってもらえればと考えていま

少子高齢化が年々進む中、将来の地 区のために何を行うべきかを考えま した。まずは地域を活気付けると同 時に、高齢者たちの活躍の場をつく ることを目標に、2017年に自治組織 「ぬくもりの里二川」が誕生しました。 今後は地区の魅力を多方面に発信 することで、より多くの関係人口を増 やし、ひいてはUターン・Iターン者を 増やしていきたいと考えています。



小さな拠点づくりとは?

住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、様々な課題の解決が必要です。 そのために知恵を出し合い、計画をつくって出来ることから 少しずつ取り組んでいくことが「小さな拠点づくり」です。

小さな拠点づくり

Creating a small base

益田市

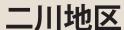
私たちの アイデア

11

子供たちの交流体験事業を

まちのひとの声

体験事業では、子供も 大人も一緒になって学 ぶことができるので、私 たち親世代でも楽しく、 とても勉強になります。



(一般社団法人 ぬくもりの甲二川)



美都温泉、石号の里、双川峡といった自慢の観光地をうまく活用し、地

域外の人をもっと呼び込めるように 関係人口を増やすのが目標です。そ の上で地元の若者たちが残ってくれ るようになり、Uターン・Iターン者も

るよっになり、Uダーン・Iダーン者も 増やしていく考えです。 体験事業などで拠点となっている公

民館もいずれは規模を大きくして、より多くの人が利用できる場にしていきたいです。

地元の高齢者の指導のもと、昔から 地域に伝わる伝統や文化を子どもた ちに体験してもらうイベントを年に1 回行っています。

津和野の伝統的な郷土料理「うずめ飯」を一緒に作って食べる企画や、焼き米という郷土食づくり体験などがこれまで好評でした。これら伝統食を体験することから地域の歴史を学び、高齢者と子どもたちが楽しく交流できる貴重な場となっています。

少子高齢化が年々進む中、将来の地区のために何を行うべきかを考えました。まずは地域を活気付けると同時に、高齢者たちの活躍の場をつくることを目標に、2017年に自治組織「ぬくもりの里二川」が誕生しました。今後は地区の魅力を多方面に発信することで、より多くの関係人口を増やし、ひいてはUターン・Iターン者を増やしていきたいと考えています。





小さな拠点づくりとは?

住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、様々な課題の解決が必要です。 そのために知恵を出し合い、計画をつくって出来ることから 少しずつ取り組んでいくことが「小さな拠点づくり」です。 がくりはなって